

年 組 名前：

春の甲州軍団出陣 6年ぶり復活 桜と武将 共演映える



満開の桜の下で行われた甲州軍団の出陣式（撮影・宮川祐人）

5日行われた甲州軍団出陣は6年ぶりの春開催となり、満開の桜の中で勇壮な戦国絵巻が繰り広げられた。甲府・舞鶴城公園に駆けつけた観客は「信玄公の勇ましい姿に桜が映えた」と久しぶりの共演を楽しんだ様子。春開催は武将が乗る馬の確保がスムーズになるなど、運営面にメリットがあるとの声もあった。

＝関連記事1、16面、写真特集17面

（社会報道部）

甲府市中心部では、満開の桜と武将たちの勇ましい姿をと訪れた甲府市中央2千目の桜めようトラマトフォンを秋山功さんは、信玄公役と山手に、甲州軍団出陣を見守る本勘助役はいずれも元宝塚歌劇団出身の俳優が務め、「妻が宝塚ファンなので、とてもよかったです」と満足そうに話した。満開の桜と合わせ「祭りとお花見の両方を楽しめた」と語った。

信玄公祭りはもともと武田信玄の命日（4月12日）に合わせて開かれてきた歴史がある。新型コロナウイルス感染拡大の影響などで秋の開催が続いたが、実行委員会は今回、県民らを対象にしたアンケートで春開催を希望する回答が多かったことなどを踏まえ、春開催を復活させた。秋山さんは「信玄公をしのぶという祭りの意味を考えると、命日のある4月の開催はよいこと」と語った。

板垣駿河守信方隊の一員として参加した上野公大さん（30）は「桜の下を歩く武者行列は勇壮なだけでなく、とてもきれいに見えたのではない

か」と感想。会場を訪れた南アルプス・櫛形中1年の田鹿煌青さんは「甲冑姿に桜が映え、迫力に驚いた」と興奮した様子だった。

春開催は祭りの運営面にも好影響があった。武将が乗る馬の用意を担当している「ラングラーランチ」（北杜市）の田中光法代表は、秋開催に比べ馬が確保しやすかったといい、「イベントやテレビ撮影に貸し出せる馬は限られている。繁忙期の秋開催だと体調を崩してしまうこともあり、春開催は馬にとっても好ましい」と話した。

（2025年4月6日付 山梨日日新聞 18面）

問1

今年の甲州軍団出陣は6年ぶりの春開催となりました。昨年は、いつ行われましたか。

・夏 ・秋 ・冬

問2

今年の信玄公役と、山本勘助役の共通点を教えてください。

.....

問3

春開催が運営面にも良いことがありました。なにが良かったか教えてください。

.....